

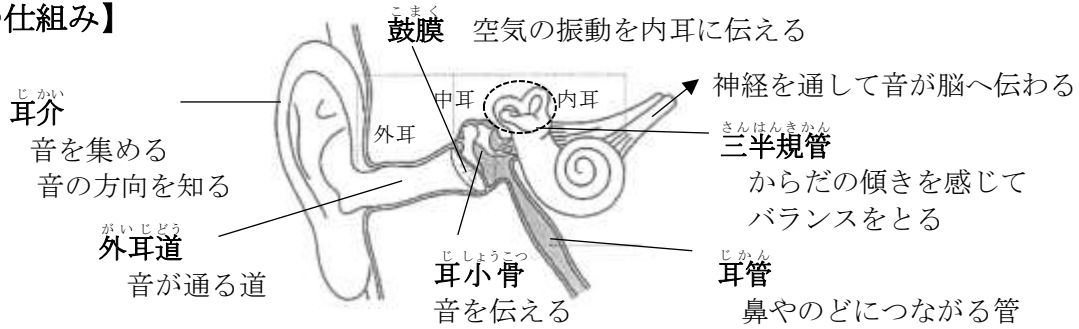


ほけんだより

令和3年3月
大田区立保育園

3月3日は「耳の日」です。「耳の日」は、昭和31年に日本耳鼻咽喉科学会の提案により「難聴と言語障害をもつ人びとの悩みを少しでも解決したい」という社会福祉への願いから始まりました。今月は、耳に関することをお伝えします。

【耳の仕組み】



【大切な耳を守るポイント】

中耳炎の予防

- * 鼻水は、すすらない
- * 鼻をかむときは、片方ずつ静かにかむ



外耳炎の予防

- * 耳掃除は、綿棒で耳の入り口を拭き取る程度でOK



聞こえを守る

- * 耳の近くで大きな声や音を出さない



外傷から守る

- * 耳を叩いたり、強く引っ張ったりしない



耳マークを知っていますか？



聞こえが不自由なことを表すと同時に、聞こえない人・聞こえにくい人への配慮を表すマークです。

このマークを見たり、提示されたりしたときは、ゆっくり話す・筆談・身振り手振り・手話など相手に合わせて、コミュニケーションをとりましょう。

ヘッドフォン・イヤフォンによる

難聴が増えています！

<予防法>

- ◇ 耳や頭が痛くなるほどの音量で聞かない。
- ◇ 過剰に音量を上げないように、外から入る騒音を抑える機能の付いたものにする。
- ◇ 1時間を超えて聞き続けない。

聞こえ方が気になるときは、早めに耳鼻科を受診しましょう



新型コロナウイルス 予防接種Q&A (厚生労働省Q&Aからまとめました)

- Q ワクチンは必要ですか？ A 重症化を予防するために有効とされています。
- Q アレルギー反応が心配です… A 世界各地で開始され、入院を要する重症アレルギーの発症は低いというデータが出ています。
- Q 子どもは打てないってホント？ A 子どもの重傷者が少ないことや検証がまだ不十分のため、現在接種の見通しが立っていません。



新型コロナウイルスの予防接種に関しては、今後の情報に注意しましょう。